

# 講師の横顔

山口きらめき財団では、登録講師を、団体やグループが行う男女共同参画の研修会へ派遣しています。そうした講師の方々の横顔を紹介していきます。



たか せ いづみ  
高瀬 泉さん

## プロフィール

山口大学大学院医学系研究科  
法医学講座講師

性暴力救援センター大阪(SA  
CHICO)運営委員

## 専門分野

性暴力、性犯罪およびこれらに  
関する現状や法的事項、  
児童虐待(特に性虐待)

高瀬さんは、大阪医科大学を卒業後、東京大学大学院を修了。滋賀医科大学講師などを経て、現在は山口大学の講師で、法医学の分野を担当しておられます。

医学に進まれたきっかけは、小学校低学年のときに読んだ「ナイチンゲール」の伝記に感動され、



穏やかな表情で話される高瀬さん

看護師になろうと思われたことからだそうですね。やがて、夢は看護師から医師へと膨らんだとのことでした。

その一方で、法律にも興味を持たれ、進路を悩みながらも医師になろうと医学部へ進学されました。そして、大学4年生のときに、医学も法律も学ぶことができる法医学と出会い、迷うことなくその道に進まれたそうです。

現在は、警察から司法解剖の要請があれば即座に対応されます。

また、性暴力の研究にも携わっておられます。

性暴力の被害者は女性の方が多ですが、調査によると、割合としては少なめではあるものの、男性の被害者もいると話されました。

性暴力では、被害者は自分に落ち度があったのではないかと自分を責めることも少なくありません。受けた被害は根深くて、特に心の傷は計り知れません。なかなか立ち直れないことも多いので、ケアにあたる人には繊細な心遣いが求められるそうです。そして、もし相談を受けた場合には、何より「あなたは悪くない」ということをしっかり伝えてほしいとのことでした。

「社会にお役に立てることは、どんどんお引き受けしたい。」という高瀬さん。研究のテーマは、重く深い内容にもかかわらず、話される様子はとても穏やかなのが印象的でした。

(取材・藤谷)

## ライブラリー紹介

山口きらめき財団では、男女共同参画の啓発のため、図書&ビデオ(DVD)の貸出しを行っています。

### Book 男子草食化、女子肉食化のススメ 自立への助走

渡辺頭一郎／著  
文芸社



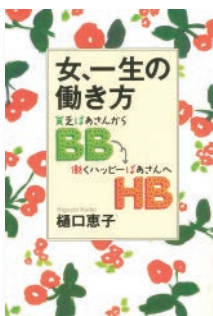
「『自分らしさを見出す』ためには、私たちの中に染みついている役割意識を一旦捨て、その上で新しい男女の共存関係をさぐってみたい」

著者は社会の変遷の中で、育児や家庭生活などに苦勞する人々にやさしくエールを送っています。著者の温かさや見識の広さ、さらに日本の将来を見とおそうとする強い意志が感じられます。

### Book

### 女、一生の働き方 貧乏ばあさんから働くハッピーばあさんへ

樋口 恵子／著  
海電社



女性がたくましくなったと言われる現代。これからの女性は長生きしていく中で、これまで以上に社会との関わりが増えてきます。そこで本書は、収入と気持ちのうえで「BB(貧乏ばあさん)」ではなく、「HB(ハッピーばあさん)」になろうと呼びかけています。

長く女性のありかたを研究してきた著者による熱意のこもった一冊です。

平成24年度

# DV防止講座

将来いい恋をしたい  
二人のために

日時  
平成24年7月19日(木)

場所  
長門高等学校

講師  
小柴 久子さん

まず、結婚している男女間の暴力のことをDV、交際している男女間の暴力のことをデートDVと呼んでいると説明された上で、「意識のチェックリスト」を使って、自分自身のデートDVに対する意識を確認し、生徒にそれぞれの役割を演じてもらうロールプレイが行われました。

嫉妬から起こる行動を愛情表現と勘違いして、行き過ぎた行動になってしまうことがあるとのこと。「愛は大切にしよう」と「束縛は相手の行動を制限し、自分の思いをおすこと」で、愛と束縛は違います。

交際相手と対等な関係を作るためには、自分の気持ちを言葉で伝えることが大切であり、再度、お互いの気持ちを入れてロールプレイが行われました。次第に穏やかな表現になったのが印象的でした。

友人がDVの被害にあったら、「話を聞いてあげる」「批判をしない」といったことに心掛けるとともに、身近な大人に相談するように勧めることが重要です。また、専門の相談窓口を紹介されました。

一人で悩まず、まずは誰かに相談することが重要だと感じました。

(原田)

山口きらめき財団では、若いうちから配偶者や交際相手からの暴力の問題について考えてもらうため、県内の高校・専門学校・大学等においてDV防止講座を開催しています。

## ピュアネットからのお知らせ

### ●みなさんの声をお待ちしています

ピュアネットは、皆さんと財団を結ぶ情報の「ひろば」です。購入希望図書・DVD、編集についてのご意見、お気づきや質問等、お気軽にお寄せください。

### ●「ピュアネット」定期購読者を募集します

ピュアネットは、年2回(9月、3月)の発行です。定期購読(無料)をご希望の方は、下記までお申し込みください。

#### 申し込み・問い合わせ先

公益財団法人山口きらめき財団  
〒753-0082  
山口市水の上町 1-7 水の上庁舎2階  
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096  
E-mail purenet@y-kirameki.or.jp  
HP <http://www.y-kirameki.or.jp>

寄付の  
お願い



## 財団の事業を ご支援ください

皆様からの寄付金は、  
ご指定の分野への活動助成に役立てます。  
ぜひ、ご協力をお願いいたします。

### ★寄付方法

現金や銀行振込等で受け付けます。  
当財団の専用振込用紙をご利用いただきますと、  
振込の手数料が免除されます。振込用紙は当財団  
までご請求ください。

きらめき財団へのご寄付については、  
税の優遇措置があります。

## 編集後記

★萩焼の名門「坂窯」を訪問したおり、きれいに掃き清められた入り口に目を奪われてそのまま中に入ってしまった。帰りに見ると入り口にちゃんと呼び鈴が。失礼しました。(ハラタコ)

★以前にも増して、各方面で女性が活躍しているように思います。自分の夢や希望を実現するためには、最初の一步を踏み出すのが一番大変ではないかと感じました。(忍)

★女性起業家の熱い思いを取材させていただきました。夢の実現に向けてそれぞれの手法は異なりますが、夢を追い求めることは若さの秘訣でもあります。(花形)

★今年の夏は軽井沢で白樺を満喫してきました。リフレッシュしてこれからも新しい未来へチャレンジしたいと思いました。(有田)

★特集の取材でお話をお聞きするうちに、秘めた情熱が伝わってきて、オリンピック中にも幾度か聞いた「夢は叶うもの」をあらためて感じました。(ひまわり)

★商店街の活性化は今や全国的な課題です。旅先では人の集まる商店街を観察して、その魅力を見つけることが楽しみの一つです。(堀江)

★ふと、「もしも男女共同参画という言葉を使わなくてよい日がきたらな」と考えました。すると頭には素敵な社会が広がり、顔はほころんでいました。(桶本)

★自分の生き方を問われる現在。女性が働く理由には、経済力の問題だけでなく、社会の中で自己実現もとても大切なことのように感じました。(本藤)

★ようやく秋の気配ですが、熱かったロンドン五輪では、卓球、バドミントン、バレーボール、サッカー、水泳と、あらためてニッポンの女性は強いなど、この夏は感慨二入でした。(ハライカ)

平成24年度

# 男女共同参画 フォーラム

思いやり、  
ささえ愛



～明日を拓く維新のまちから～

入場無料

託児あり(要予約)  
バザーあり

平成24年

10月21日(日)  
10:00～15:00

会場:山口福祉文化大学  
(萩市)

●分科会 10:00～11:30 **会場** 3号館内教室

- ・第1分科会 絵本の中の男女共同参画  
～幼少期からはぐくむ自分らしさ～
- ・第2分科会 それって愛?  
～ストップ・ザ・デートDV～
- ・第3分科会 ワーク・ライフ・バランス  
～男女が働き合える社会とは～

●アトラクション 12:30～13:00 **会場** 体育館

- ①ストリートダンス ②健康づくり体操

●式典 13:00～13:30 **会場** 体育館

開会宣言、主催者等あいさつ、表彰

**その他**

団体等の活動紹介、ポスターコンテスト入賞作品の展示、バザー等

●講演会 13:30～15:00

**会場** 体育館

講師

俳優  
国連開発計画(UNDP)親善大使

紺野美沙子 さん

演題

今、私たちにできること  
～一人ひとりが輝く  
明日のために～



主催/平成24年度男女共同参画フォーラム実行委員会、山口県、公益財団法人山口きらめき財団 共催/萩市、山口福祉文化大学 後援/山口県男女共同参画推進連携会議、朝日新聞社、FBS エフエスエフ、共同通信社山口支局、産経新聞社、時事通信社山口支局、中国新聞防長本社、tvs テレビ山口、日本経済新聞社山口支局、NHK山口放送局、萩ケーブルネットワーク株式会社、毎日新聞社、yqb 山口朝日放送、山口新聞社、KRY山口放送、読売新聞西部本社

お問い合わせ・お申込み先 / 男女共同参画フォーラム実行委員会事務局 〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県男女共同参画課内  
TEL (083) 933-2630 FAX (083) 933-2639 メール a12800@pref.yamaguchi.lg.jp

ピュアネット

September 2012 vol.48

編集・発行

公益財団法人山口きらめき財団

〒753-0082 山口市水の上町1-7 水の上庁舎2階  
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096

この印刷物は再生紙を使用しております。